

一般質問



無所属
塚本 三作 議員

新年度予算案とまちづくり

問 新年度予算案の特色は。

答 安心して子供を産み育てたいと思えるような環境づくり、教育の向上及び産業の多

様化と雇用の場の確保を中心とした様々な取り組みを充実させていきたい。

また、中心市街地の活性化、動物園の魅力向上などにも取り組むこととしている。

問 自立した財政運営の確立とはどういうイメージか。

答 市税を中心とした自主財源を安定的に確保することで、国からの地方交付税や国庫補助金などに過度に頼らなくても将来的なまちづくりに向けた投資が行えるような状態などを考えている。



無所属
島野 知洋 議員

ふるさとのシンボルである三池山の活用

問 三池山における子供の自然体験の現状と今後の活用は。

答 三池山は自然豊かな環境がある学習対象の一つである。

歓迎やお別れの遠足や小学校の生活科における学習などに使われている。

自然環境に対する理解と郷土の自然を守る主体的な取り組みができるよう、郷土の自然に詳しいゲストティーチャーなどを活用し、三池山をはじめ本市の豊かな自然を生かした体験活動の充実に努めていく。

再発言 市民活動団体は担い手不足に苦慮しており、ボランティア募集の情報提供やマッチングなども工夫した支援



無所属
森 遵 議員

介護予防・日常生活支援総合事業

問 本市の制度は、国の方向性にも合い、よく練られていると思うが、利用者の方と事業所のマッチングができてい

るケースなどは、利用者の状況に合った選択を認める柔軟性を持たせるべきだと思うが、どうか。

答 事業者、ケアマネジャーの意見等も聞いた中で、今後の事業の参考としたい。

問 場所を地域交流施設に限定することで、事業者の選別を自動的にやることにつながるとも思うが、この点はどうか。

答 市としては、限定しているわけではないが、その点も踏まえて、今後の事業運営の

高齢者虐待の通報、相談等の現状

問 法的根拠に基づく行政としての対応とその限界は。

答 高齢者虐待防止法に規定されている市町村の責務と役割に基づき高齢者本人だけでなく、養護者への支援も行っている。

その際、解決を図ることが非常に困難な場合もあるが、人権に配慮しながら関係機関等と連携して、高齢者虐待防止に努める。

を図ってほしい。

学校再編整備推進事業

問 市立学校適正規模・適正配置計画の中間見直しにおける適正規模などの基準や考え方の見直しは。

答 学校規模は、国で標準的な規模を定めているが、教育上の課題などを捉えながら弾力的な運用の必要性も示されており、本市における学校規模の考え方について、検討委員会で議論が進められている。

参考としたい。

学童保育

問 多子世帯の軽減措置を導入してはどうか。

答 近隣市の状況、受益者負担のあり方、財政状況等を総合的に検討し、判断したい。

問 預かり時間の延長については、まずは、平日だけでも延長を検討してはどうか。

答 これから指定管理者等と協議する中で、平日のみの場合も含め、検討したい。